



## 危機意識を持ちながら行動を

日頃より、本校の教育活動にご支援、ご協力いただきありがとうございます。

さて、分散登校を始め、約1ヶ月が経過しました。保護者の皆様、お子様の健康観察・検温と新型コロナウイルス感染症予防にご協力いただき感謝いたします。

新型コロナウイルス感染者は、未だ減ってはならず、無症状感染者の増加が目立ってきています。カタルーニャ州の教育庁からもこの1ヶ月で指示があり、その都度、皆様へ「学校における新型コロナウイルス感染症に関連した対応について」を配信しております。この目的は、園児児童生徒を含むすべての学校関係者の健康と安全を第一とするものです。是非ここで考えていただきたいことは、現在の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、一人ひとりが感染予防をより徹底していかなければならない点だということです。特に「感染状況の悪化している地域」へは自ら行かない、近づかないことです。つまり「自分の命は、自分で守る」ことが重要になってくると思います。一方、感染症対策に気を配りながら日常生活を継続すること、気分転換も含めたメンタル面に気を付けることも忘れてはならないことだと考えます。

先日、本校の子どもたちから2011年3月11日に発生した東日本大震災についてのインタビューを受け、その時に学んだことを思い出しました。特に大切なことは、「最悪の状況を考え、行動をとる」ことです。なぜなら、最悪の状況を想定し準備しておけば、今後起こりえることに対し、ゆとりを持って、しっかり対応できるからです。「危機意識がないことが、最大の危機である」と、よく言われます。

今後、カタルーニャ州、特にバルセロナ市及びその周辺地域での感染状況がどのようになっていくかわかりませんが、日頃から危機意識を持ち、状況を見極めながら、園児児童生徒を含むすべての学校関係者の安全を確保していきたいと思えます。

子どもたちはバルセロナ日本人学校へ登校でき、うれしいようです。「学校で過ごして、どうですか？」と聞いてみたところ、「オンライン授業より、登校でき友達と過ごせる、教室で授業を受けることができるのがいいです」と、ほとんどの子どもが言っております。

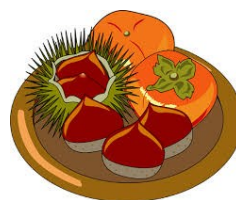
一日でも早く、新型コロナウイルス感染症が収束し、元の日常に戻れることを願うばかりです。再度、危機意識を持ち、行動していきましょう。もし、お子様の体調や健康状態に何かありましたら、登校・登園を控えていただければと考えます。本校では、オンライン授業を提供しておりますので、それを選択することもできます。その際は、ご連絡いただければ対応いたします。

これまで同様、ご家庭でもお子様の健康観察、体調管理によりしくご配慮をお願いいたします。

(文責：校長 佐藤修司)

### 行事予定

- 10月 8日(木) <中学部>中間テスト
- 11日(日) 第2回英検一次
- 12日(月) スペインの日
- 19日(月) ~ 23日(金) 学校評価



今年度は、学校評価を「Google フォーム」で実施いたします。保護者の皆様宛にメールでアンケートフォームを配信予定です。どうぞよろしくをお願いいたします。

### お知らせ

- (1) 日中の気温差が大きくなっています。気温に合わせて調整のできる服装をご準備ください。
- (2) COVID-19の状況により、予定が変わることがあります。今後も、学校よりメール等でお知らせをいたしますのでご確認をお願いいたします。